

福岡市環境審議会循環型社会構築部会議事要旨

I 開催日時等

1 日時 平成 29 年 12 月 5 日（火） 15:30～17:00

2 場所 アクロス福岡 6階 606 会議室

3 議 事

事業系古紙資源化の誘導策について

4 出席者（50 音順，敬称略）

氏名	役職等
阿部 真之助	市議会議員
小出 秀雄	西南学院大学経済学部教授
平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事長
田中 綾子	福岡大学工学部教授
中山 裕文	九州大学大学院 工学研究院 准教授
久留 百合子	(株)ビスネット代表取締役／消費生活アドバイザー
松野 隆	市議会議員
◎ 松藤 康司	福岡大学工学部教授

◎部会長

II 議事要旨

- 委員：展開検査装置の検査内容と導入効果を問う
- 課長：参考資料2の2頁にある大阪市の事例にあるように、展開検査装置にごみをおろしてもらい、職員がごみの中に古紙が混入していないかを確認することで古紙の搬入を禁止することができる。
- 委員：古紙の分別義務化で効果はあるのか。
- 循環型社会計画課長：他都市では効果がある。
- 委員：リサイクルベースでは処分料金が半額とのことだが、計量の方法はどのようになるのか。
- 管理課長：清掃工場ではごみ搬入前と、ごみ搬入後の重量差で計量している。
- 収集管理課長：排出事業者のごみ処理料金は、一定期間のごみの排出量を計測し、その結果から排出事業者とごみ収集運搬許可業者が契約している。その都度計量しているわけではない。
- 委員：事業者の処理料金がどう変わることがわかりづらい。
- 収集管理課長：処分料金が半額となるが、単純に排出事業者が負担する処理料金が半額になるというわけではない。
- 委員：各事業者がどのように分別しているか現場を確認したことはあるか。
- 資源循環推進課長：特定事業用建築物については、提出を義務付けている減量計画書を元に、新規事業所を中心に現地にて調査している。
- 委員：ビルの中は所有者や管理者がテナントがボックスを置いてきれいにわけている。排出事業者が自ら事業系の古紙回収ボックスに持ち込めば無料という理解でよいか。
- 資源循環推進課長：現在の地域の回収ボックスは家庭ごみを対象としており、量に応じて報奨金を支払っている。事業系ごみをこのボックスで受け入れることについては、報奨金制度と管理に課題があり、今後、検討していく必要があると考えている。
- なお、古紙回収業者が独自で設置している回収ボックスへの持ち込みは、無料という理解で問題ない。
- 部長：家庭ごみリサイクルボックスにいきなり受け入れますということになると色々と混乱が起きる可能性がある。課題を整理されたい。
- 委員：アンケート調査結果で、資源化に取り組んでいない事業所の規模はどの程度であるか。
- 資源化施設整備係長：排出事業者と事業系ごみ収集運搬許可業者（以下「許可業者」という。）の処理料金の契約金額の平均が月1万2千円程度であり、平均価格帯の中小排出事業所を主対象に調査を行った。

- 委員：大手企業であれば、分別に充てる人的余力があるかもしれないが、小規模事業者はそうではないところが多いのではないか。例えば、古紙回収ボックスを設置しておいてそこに何でも入れてよいという仕組みがあれば助かる。さらにインセンティブがあった方がよいのではないか。
- 環境政策部長：リサイクルベースで想定している仕組みは委員がおっしゃったような、分別の手間を極力小さくする仕組みと考えている。それとは別のインセンティブについては検討が必要かと考えている。
- 委員：古紙の資源化に取り組んでいない業者はどの業種が一番多いか。
- 資源化施設整備係長：古紙の発生量が少ない飲食店等が多い。飲食店において発生したダンボールは卸売業者がそのまま回収することが多く、古紙発生量がそもそも少ないため、取り組みが進んでいないようである。
- 委員：リサイクルベースは利便性を強く打ち出しているように思うが、京都市にはごみ半減を目指す「しまつのこころ条例」があり、「もったいない」や「しまつのこころ」といった京都に息づく日本伝統の精神文化を大切にする取組みを定めている。
- 福岡市でも、利便性だけでなくそういった背景まで併せてPRすべきである。
- 委員：資料について4つ質問がある。1つ目が古紙発生量の調査方法について。国外に輸出されている分は含まれているのか、2つ目が処理料金が70円/10kgとしているが、古紙相場が暴落した場合にも料金を担保できるのか、3つ目が仮に12,000円/月の処理料金であった場合、リサイクルベース利用でどの程度の処理料金となるのか、4つ目がアンケートの問2にある利用を検討したいという事業所は重量ベースで換算するとどの程度となるのか。
- 資源循環推進課長：焼却されている古紙については、組成調査より推計している。
- 循環型社会計画課長：処理料金については、古紙の発生量により異なるが5%程度の減額を試算している。
- 環境政策部長：福岡市ペーパーリサイクル協同組合からの報告には国内外で資源化されている古紙の量が含まれている。しかしながら、近年、古紙業者が空地等に設置している古紙回収ボックスの量は把握していないため、輸出は把握できていないが全体に占める量はそれほど多くないと考えている。
- 部長：重量ベースでの算出について、手元に数字がないのであれば、今後算出してもらいたい。
- 資源化施設整備係長：処分料金については、過去10年間の古紙相場の最安値で採算性を検証しており、問題ないものと考えている。
- 委員：短期的は暴落することもあると思うが問題ないのか。
- 環境政策部長：リサイクルベースは許可業者等で設立した会社が主体となって古紙を約3万トン資源化する計画であり、一時的に下がった分についても許可業者が補填

等を行い、特に問題ないものと考えている。

委員：リサイクルベースはどういう事業形態となるのか、また事業系古紙回収ボックスを設置している具体例はあるのか。

循環型社会計画課長：許可業者等により設立された会社が運営を行う。市において事業系古紙回収ボックスは設置していない。

環境政策部長：事業系ごみについては、一義的には事業者処理責任があり、許可業者による収集及び資源化が基本と考えている。家庭用の古紙回収ボックスでの受入れについては、慎重に検討していきたい。

部会長：展開検査については、誰が実施するのか。他都市では直営や一部事務組合が実施しているが、地域特性等も考慮して本市で実施した場合問題ないと考えているのか。

管理課長：工場によって設備に差があるものの、昼間の自己搬入については、主に焼却に問題あるものが混入されていないかを確認するため搬入物検査を実施している。過去に問題があった業者を重点的にチェックするといった体制をとっており、古紙についてもそういった仕組みを応用するといった方法が考えられる。

部会長：夜間はどのようなつもりか。展開調査は労力がかかり大変である。京都市・大阪市の事例を見ると簡単に実施できるように感じるかが、行政機関全体の合理化が進められている中、人手が不足するのではないか。

環境政策部長：まずは許可業者による資源化の取組みが重要と考えている。それでもごみが減らない状況となれば、夜間の展開検査も検討していく必要がある。

部会長：横浜市では、市職員全員で全量展開検査を実施し、やっのごみが減ったという経緯がある。処理料金の値上げでは一時的な効果があってもリバウンドしがちである。搬入状況の悪い事業者を公表するといった手段等、分別区分の追加をする際は徹底した取組みを検討してもらいたい。

委員：京都市や大阪市では経済的なインセンティブな仕組みもなく、分別義務化を導入したのか。

資源化施設整備課長：そのとおりである。

委員：古紙分別義務化とはどういう意味か。

資源化施設整備課長：燃えるごみの中にリサイクル可能な古紙は入れられないという分別区分のルール変更という意味である。

委員：今回提示された資料は、うまくいった事例のみであり、歴史的な経緯等には触れられていない。新たな施策の導入はいいことばかりではなく、必ず課題も出てくるはずであり、福岡市に当てはめた場合どのような課題が出てくるのか、ごみの減量を進めた場合の費用対効果はどうか総合的な検証も行

うべきである。

また、将来の方向性も併せて示していくべきである。

環境政策部長：今回の施策は、まずはリサイクルベースを軸に中小事業者を主な対象に古紙の資源化を進めていくとしたものであり、分別区分の追加といった強制的な手法は資源化の状況を見ながら、審議会や議会の意見も伺いつつ、検討していきたい。

委員：資料について、グラフの基点はゼロであるべきであり、今回の他都市のようなグラフであると、古紙の分別義務化を導入すると実際は2割程度の減量であるのに、半減するといった誤った印象を与えかねない。また、資料は両面印刷を徹底する等の努力が不足しているのではないか。

また、禁忌品が何を指しているのかの説明も記載されていない。素人が見てもわかるような資料作りを心がけるべきである。

部会長：最近、デパートの包装用紙が再び過剰となる等、ごみの減量意識が希薄化しているように感じる。ごみの減量を進めることは大事なことであるが、市民や事業者の意識を啓発していくことも大事なことであり、並行して取り組んでいく必要がある。

事業系古紙の分別区分の追加の際は、罰則の導入等も含め展開検査を実施すべきであり、一部試行等も踏まえ検討されたい。食品廃棄物の資源化の取組みも進めてもらっているところであり、あとはプラスチックをどうするかというところとも思う。

今回のリサイクルセンターを軸とした事業系古紙の資源化についてはぜひ進めてもらいたい。